

Interview



「勉強の仕方を教わることで、投資対効果が高いと思い
導入を決めました。」

－アサヒグループホールディングス株式会社
HR Manager 堀内 扶 様

アサヒグループホールディングス株式会社

お話をお伺いした方

- HR
Manager 堀内 扶 様
- Sustainability
Deputy Manager 木下 弦 様

(※2021年2月取材時の役職)

企業様情報

本社所在地：

〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋1-23-1

設立：1949年（昭和24年）9月1日

（吸収分割を行ったアサヒビール株式会社が、2011年7月1日商号変更を行い、純粋持株会社のアサヒグループホールディングス株式会社になりました）



(左から：堀内様・木下様)

#1 アサヒグループホールディングスのグローバル戦略を教えてください。

直近この3~4年でヨーロッパのビール会社やオーストラリアのビール最大手のCUBの買収であったりと、この4年くらいでグローバル化が一気に進みました。売上でいうと4割くらい、利益でいうと5割程度まで事業利益として海外のほうから出てくるというグローバル化が一気に進んだので、そこに対して人材育成が追い付いていないというのが私たちHRとしての課題としてありました。

そのときに将来のアサヒグループホールディングスのグローバル経営をできる人材を絶え間なく輩出していくことが私たちHRとしての非常に大きなミッションだったので、若手の社員に対して、若手から育成していくために必要なものを3つ挙げました。

1つ目は経営戦略、2つ目は財務的な知識、3つ目に語学力です。



将来の経営者を若いうちから育成していくことに投資

英語をしっかりと話せて経験している人材が必要だということがプログリットと接点を持った第一歩となります。

#2 社内の英語力や英語研修に対してどのような課題を持っていましたか？

どちらかというところ、会社としてではなく、個人の想いに頼っていた部分が非常に強かったです。個人の力に頼ってしまうと、優先順位としては普段の生活にいつてもいいがちなのですが、会社として今後の経営者、幹部に対しては語学力が必要で、そこに対して会社としてしっかり投資していくことになりました。

高いポテンシャルを持って、パフォーマンスが高そうな人を選抜し、将来の経営者を本当に若いうちから育成していく考え方に変えたというのが大きな変更点だと思っています。

#3 グローバル人材育成のためにプログリットを選んだ理由はなんですか？

アサヒビールの元部長からご紹介いただいたのがきっかけでしたが、長い目で見たときの学習効果の高さが決め手でした。

英会話に通っていた経験があるのですが、お金も高いですし、学習した時間と伸びが比例するようなイメージがあったので、英語力の伸びに関しては限界があるような気がしていました。

「勉強の仕方」を知ること



プログリットで「勉強の仕方」を教えてもらったほうがしっかり型として身に付くので、将来長い目で見ると、学習効果としてはそちらのほうが高いんじゃないかとお話を伺って思いました。

#4

始まる前に不安・懸念点はありましたか？

定期的にフォローいただいて、御社の考え方について非常に理解できました。最初トライアルで数名受講させていただいた人に対してもフィードバックをいただいていたので、プログリットにお任せしても大丈夫と思いました。最初は経営者育成のところから入らせていただいて、グローバルチャレンジャーズプログラム（海外へ派遣する人材の派遣前の研修）の中でもお願いしている部分がありまして、お任せする幅が広がっていきました。

#5 木下さんは業務上、英語を使う機会はどれぐらいありましたか？

そうですね。海外とのミーティングは定期的にあります。そのときに私は（英語が）堪能ではないので、流暢な方に入っていたり、通訳に入っていたりするんですけども、業務上のスピード感でいうと、英語力があつたほうがわかりやすいですし、ニュアンスも伝わりやすいです！

まだ全部聞き取れているわけではないのですが、直接英語でコミュニケーションをとることのメリットを感じておりますので、引き続き学習を継続しています！

#6 ご自身の中で英語に対する課題感がありましたか？

私は英語が得意なほうではなくて、会社に入ってからやらなければと思いつつ避けて通ってきた分野でした。



毎日5時間、英語学習を継続できた理由



今回は会社からご支援いただいたということで、これを機にしっかり勉強しようと思い、プログラムのサービスを2ヶ月受講させていただきました。勉強の型を教えていただいたので、その型をしっかり掴んで継続的に学習するようにしています。

#7 どのようなタイムスケジュールで勉強していましたか？

私の場合は1日4時間半学習するという目標があったのですが、結果的に5時間勉強できていました。具体的には朝と昼と夜と3つに分けて、それぞれ1時間半ずつ勉強するように時間を捻出していました。

#8 学習が継続できた理由はなんですか？

一緒に受講している仲間はいましたが、自分は英語力に関しては足りない部分が多いと自覚していたので、正直追いつけなくてもできるだけこの期間でできることはやろうと



思いました。時間を確保することが大事とコンサルタントの方に聞いていたので、そこは頑張って時間を取るようになっていました。

#9 勉強する中で、工夫していたポイントはなんですか？

1番は時間を作るということでしたが、学習が実際に定着しているかは毎回気になっていて…それが確認できたのがプログリットでした。

1週間に1回テストを受けて、自分がどれくらいできたのかっていうのを確認できたので、その点は非常に成長実感を感じることができました。今でも単語の定着を定期的に測っていますし、TOEIC[®]やVERSANT¹も定期的に受験しています。

1. VERSANTは、仕事で使える実践的な英語力を測るテスト。従来のテストや検定試験と異なり、試験の実施と採点までが短時間で行えるのが特徴。英語を聞いてから英語で話すという、実際のシーンに沿った英語コミュニケーション能力を測ることができるため、PROGRITではビジネス英会話コースで導入し、生徒様の英語力の伸びを数値化しています。

#10 受講していて定量的に、数字はどのように変わっていききましたか？

1番最初に受けたVERSANTが36→50に変わりました（1ヶ月で14点アップ）。

#11 受講してみて印象的だったことはありますか？

僕自身が焦りを感じやすいタイプなので、スコアが上がっていなかったり、英語の会議に参加したときに聞き取れないと思ったときなどは悩み込んでしまっていました。

そのときにコンサルタントの方に「英語はすぐにできるようになるようなものじゃないので、焦らずじっくりと具体的にどういったところがわからないのかを考えてみましょう」という言葉は本当に心強かったです。

音が聞き取れていないのか、聞き取れているけどその意味が理解できていないのかちゃんと見極めていただき、その部分を強化するための学習法のご提案までいただいたので、気持ちが落ち着くというところを含めてありがたかったですね。



企業様の導入、続々決定中！

会社全体の英語力を底上げしたい。海外で活躍できる社員を育てたい。
プログリットは、そんな企業様の想いを短期間で実現いたします。
英語学習コーチングという今までにない手法で、様々な業種の企業様から好評の声を頂戴しております。
まずは弊社の営業担当より貴社の英語導入の目的やご希望をお伺いさせていただきます。以下よりご連絡くださいませ。

【 法人様担当 ご連絡先 】

株式会社プログリット 法人営業第一部

TEL : 03-6381-7760 / E-mail : corporate-sales@progrit.co.jp

インターネットからは以下URLよりお問い合わせください。

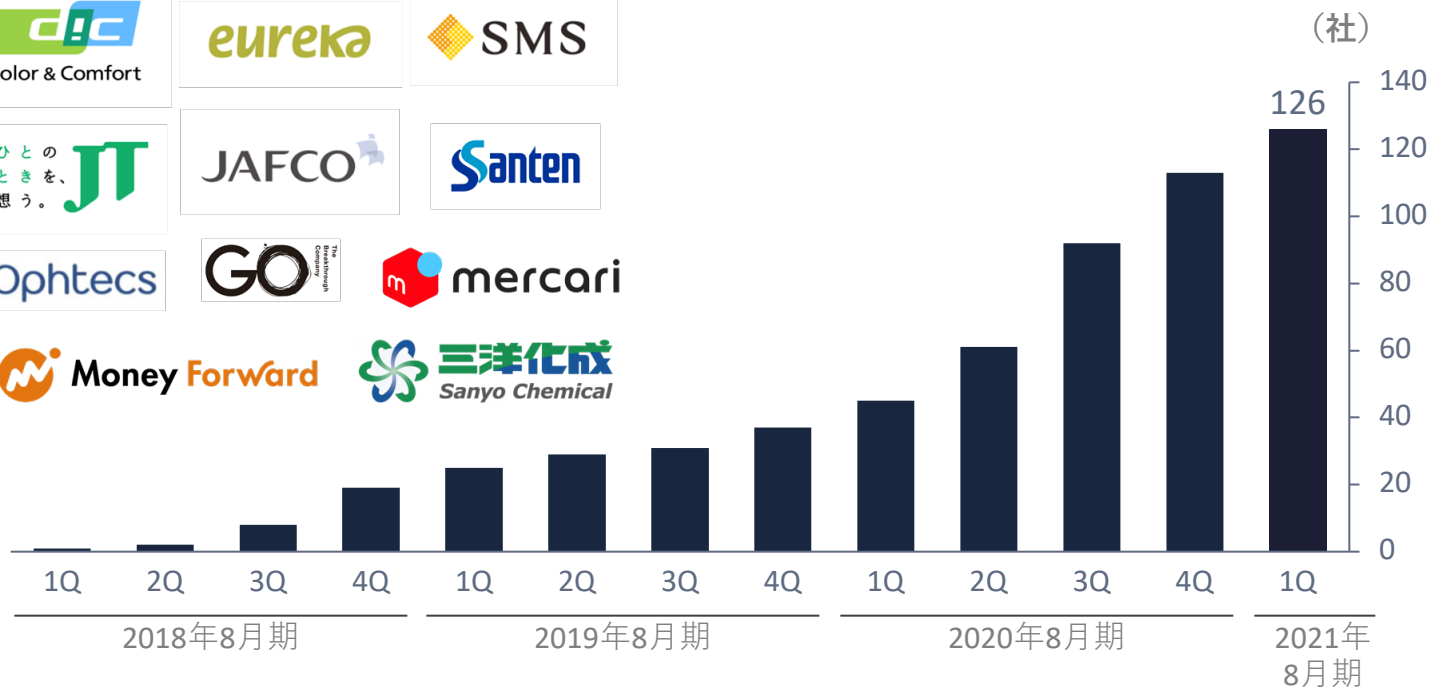
<https://www.プログリット.co.jp/business/>

(参考) 導入企業様の一例

法人における人材開発プログラムとして、126社がプログリットを活用。¹



累計取引先法人数の推移



1. 2020年11月末時点。